

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム 桜香

作成日：平成 31年 3月 25日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	6	【身体拘束をしないケアの実践】 「身体拘束廃止に関する指針」は運営母体の様式の流用としていたが、より具体性をもち関わる職員の意識向上のためにも独自の指針をもち、当ホームに適した取り組みをしていく必要がある。	「グループホーム桜香の身体拘束廃止に関する指針」を作成し、従業者に状況の変化にも対応できる虐待や身体拘束廃止に関する考え方を具体的に示し、認知症高齢者の尊厳を守ることに努める。	「身体拘束廃止等の適正化のための指針」策定。 従業者に虐待・身体拘束廃止の意義を周知する 身体拘束廃止等の適正化のため外部からの知識を得る。	1年
2	35	【災害対策】 近年の天候の変化により災害がより現実的になっていることを把握しなければならない。	災害時において冷静に対処対応できるよう、防災計画の見直しを行う。避難場所や避難後の御家族への連絡体制なども適当であるか定期的に見直す。備蓄品等が適当であるか検討する。	防災計画がより現実的であるよう常に情報を収集に努める。備蓄の品目や量などのチェック体制を作る。職員への周知の徹底。地域との支え合いの関係づくりに努める。緊急時連絡網の定期的または随時更新を行う。	1年
3	33	【看取りの体制】 現時点で看取りの体制ができていない。	入居者さんによっては、当ホームで最後を迎えられることが最良と思われる場合のために体制を作っておきたい。	「看取りの指針」策定 「従業者のための看取りの研修会」の参加や実施 ご家族との話し合いや有識者や経験者からの助言 「看取りの体制」づくり	1～2年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。